

「息を合わせて」

中津市長 奥塚 正典

二人の仲を深める強い味方、タンデム自転車。サドル、ペダル、ハンドルが縦に二つ並んだ連結自転車です。前席がパイロットと呼ばれハンドル操作を行います。後席はコパイロット、二人で力を合わせてペダルをこぐため強力に前進します。

大分県では4月から公道でのタンデム走行が可能になりました。中津には全国に誇る「メイプル耶馬サイクリングロード」があります。ポタリング大会など以前からここでタンデムを楽しむ方もいましたが、乗車の魅力が倍加しました。

タンデムは二人の足の位置と動きが同一、まさに息が合わないといけません。私も4月に視覚に障がいのある方と組んでタンデムに乗りました。コパイロットが上手な方で青の洞門、羅漢寺、オランダ橋とサイクリングを堪能しました。「あと10メートルぐらいで左に曲がります」「桜の花が咲いています」と後ろに声をかけます。すると後席から「ウグイスが鳴いていますね」「川のせせらぎが聞こえます」と声が返り会話が弾みます。目が見えなくてもタンデムなら行動範囲が広がり風や音で季節を感じ豊かな自然を体感できます。自然の中をさわやかな空気を吸ってリフレッシュするのは誰にとっても心地よいものです。

タンデム効果はこのように協働作業を通じて力が増してコミュニケーションが深まることです。二人の組合せは、視覚に障害のある方とない方、親子、若くても若くなくても素敵なカップル、仲の良い友達同士などいろいろあるでしょう。二人で息を合わせて日本遺産に認定された中津市回遊をお楽しみください。タンデム乗車がきっかけで結婚と言うような嬉しいニュースも期待しています。



サイクリングロード沿い3か所でタンデム60台を貸し出しています。皆さん、交通安全には気をつけて、まずはサイクリングロードで是非ご試乗を。